

# 晩年

## D・A・N 通信

No. 1 2022.05.20～

団 士郎

仕事場D・A・N

D・A・N通信をご存じない方も多い事と思うので、まずその歴史を述べる。次頁の新聞記事は1991年（31年前）の産経新聞。このタイトルで日誌コラムを18回連載したものの第一回目だ。この二年ほど前、つまり1989年から「D・A・N通信」と称するミニコミ通信をほぼ月刊で、最初は80人、この時点では200人に郵送していた。年賀状以上に手間のかかるものを、毎月切手を貼って出していたわけだから、相当に思いがあったのだろう。私は日常の個人的気づきをダラダラ書き知らせるのが好きなのだ。それを手にした新聞記者が、これを連載してみないかと言ってくれた。マンガはすでに連載していたが、文章をと言われたのは初めてだった。この第一期郵送版「D・A・N通信」は、いつだったか記憶にないがだんだん多忙になり、やがて終えた。

第二期は「仕事場D・A・N通信」として2001年に復活した。京都駅前ルネッサンス・ビルで「よみうり文化センター」のプログラムの一つとして「団士郎トーク・ライブ」を継続開催することになり、参加者に領収書代わりにA5版冊子（下部写真）としてお渡しすることにした。これは37回、5年余で終了した。

その後、2011年2月から、日録ツイッター（基本的に同時・同文で、時に少々の書き加えも含めFacebookと併用）を11年余（ツイート数8000通）、現在も継続しているが、それまでのD・A・N通信と比べれば、手間は何ほどのこともない。

そして今回、第三期を「晩年D・A・N通信」として2022年5月20日（75歳になった日）を起点にスタートすることにした。SNS掲載文を文字制限を外し、日付も抜いて、自在に書き膨らましてゆこうという企画である。一癖ある老人の日常や頭の中に、少しでも興味があればご覧いただきたい。



9/11/20  
**D.A.N**  
 通信  
 団 士郎

★月★日 ミニコミ個人ペーパー「D・A・N通信」を出しはじめて二年たつた。友人、知人に回して八十部から始めたものが15部の現在では三冊刊行拡大している。読者の中には未知の人も多くなった。読者の友人が、たまたま見せてもらったことが、その理由で発信を依頼して頂ける。

### 気まぐれが続ける秘訣

面白くもので、こうして発行していると、全国あちこちからホッポとミニコミ(誌)が回ってくる。同じようなことをしている人がたくさんあるのだ。

★月★日 通信はA3の紙を変則的四つ折りにして、定形郵便物の最大封書サイズにする。三カ所をシールで止めて、あて名と切手をはって出している。この紙の選択がけっこう面白い。

いままで別に紙の種類などに関心があつたわけではない。はじめは画材店、そして紙屋さんにかけるようになった。よく行くのは京都・寺町の紙司柿本。コピー印刷の用紙の条件は、厚すぎないこと(はがき程度の厚さまで)と、表面にどこほじがなないことである。店に行くといろんな紙がおいである。本の表紙で見たことがあるものやカタログなどによく使われているものなどもあって、それぞれの紙の持つ雰囲気を選んでみるのがよくなる。

通信の場合、どんなものでもかまわないから、毎回違った紙にすることを心掛けている。これまでは「バラダイス」「アンドレ」「新草木染」といった名称の紙を使った。それぞれに数種類の紙の違いがあるから、季節に合わせて切り手に合わせたりして楽しんでいる。

(漫画家、児童相談所員)



2022/05/20 75 歳になった

昨日のぼむ(1970年から50年以上、月例会を実施している8人の漫画グループ)集会で、6月1日から大阪・梅田の商業ビル NU 茶屋町で一ヶ月、ウクライナ平和漫画展をやる話を聞いた。

今月(五月)開催中の京都マンガミュージアム展では叶わなかった私の掛軸展示ができるようなので、仕事場に戻って夜中、出品候補作をブラッシュアップして、今朝、業者(京都・す屋吉)に至急製作を打診。受けてもらえるとのことで、これが75歳になった朝、スタートの仕事になった。

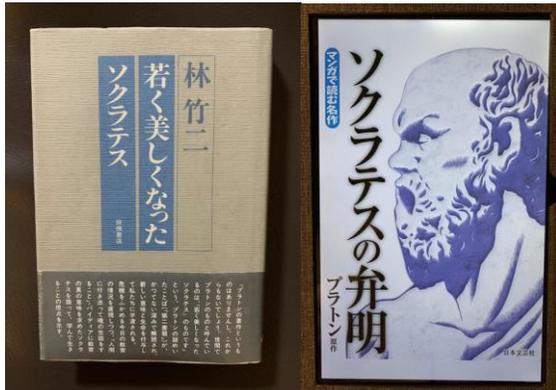
この展覧会は開催中にNHKの全国ニュースに取り上げられ、ビル管理側から18日間の展示延長提案があって、二か月近く開催された。そして篠原ユキオ(ぼむ中心メンバー)のつながりで鳥取県事業として、七月には鳥取市、倉吉市、米子市で10日ずつの巡回展覧会が実施された。



▲月▲日

どこかに引っかかってはいたが、私の人生において手を出したいと思ったことのないジャンル「哲学」。一昨日、突然、古書で買って放ってあったこれに手がのびた。湊川高校定時制で林竹二氏が行った公開授業記録の章から読み始めたら面白い。

そこに書かれた「ソクラテスの弁明」のことが知りたくて、こちらはコミックス版を kindle で。ソクラテスにつきこみを入れながら楽しむ。読み方は自由だからね。



▲月▲日

昨日実施したWSの世話役友人に案内されて、札幌から夕張市へドライブ。新緑の山、草原を快適に走る。小高い場所には残雪もあってさすが北海道。

炭鉱博物館を見て、胆振東部地震被災の厚真町被災地も通る。小山があちこちで土砂崩れの跡を残している。恐竜の化石の出た町や、牧場の競走馬を眺めて空港に。



▲月▲日

対人援助学マガジン第49号の締切日。続々と原稿が届く。

いよいよ昨年末から寝かせたままだった新しいデスクトップ PC を開封。机に2つ並べて使えば良いという発想をアドバイスされるまで、新旧の入替が億劫でズルズル、新古品化してしまっていた。

性能はだいぶ違うのにまだ古いのを使ってしまうだろうな予感あり。

近年ますますの事だが、新しい道具をAmazonで購入しておいて、開封、セッティングが億劫で仕方がない。その結果、段ボールのままのものが増える。馬鹿な老人としか言いようがない。



▲月▲日

立命館大学院で一コマだけの授業。人が撮ってくれた写真を見ながら、太ったなあと思う。人生で太ったなんて感覚はごく近年のこと。

まあ、負担になるほどの体重ではないから、腹が出たなあなんて感想でお茶を濁しているが格好が悪

い。少しは食べるのを控えるとか、エクササイズするとか。でも、目標達成まで生きてないかもしれないなあ。



#### ▲月▲日

気になるのに長い間、仕事場に放置していた使わなくなったパソコンやプリンター、コンポ等十台余を廃棄業者に持って帰ってもらった(有料)。その関係であちこちに少しスペースが生まれた。結局は本を詰めてしまうのだろうが、仕事場の贅肉が少しとれた。

今の仕事場 D・A・N は2LDK と一人事務所としてはゆとりがある。10年足らず前、同じフロアの部屋(1LDK)から10メートルほど引っ越したのだ。

当初はゆっくりしていたが、すぐ物の山になってしまって、今では窮屈なところも。そこからこれだけの物を運び出してもらったというわけだ。



そんなすがすがしい気分の中、間抜け老人の典型のようなことやってしまった。ホームページで連載中のコラム「私的埋蔵文化財」の原稿を先取りして5回分ほど書き進めていた。データを失くしてはいけないのでUSBのバックアップを取ろうとして、作業中データを消してしまったらしい。復旧させる元気が出てこない。しばし休載か。



この落胆の数時間後、「アア、ヤッチマッター」と思ったのが早合点だったことが判明。よく調べてから判断しろ！

失敗を嫌がる余り、ろくに探もしないで諦めて嘆くのは、懸命に探しても見つからない未来を想像して、それを嫌がる弱い防衛だ。

#### ▲月▲日

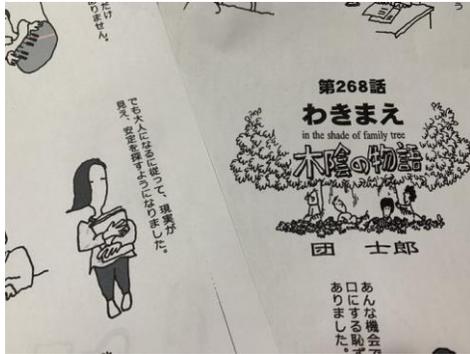
対人援助学マガジン編集作業の隙間。先週土曜日、東宝シネマズ二条で観るのは止めておこうと決めたのに、結局、movix 京都に観に行ってしまった。長男がSNSで面白かったと書いていたのだ。

第一作と同じで、わかったような話なのにハラハラ楽しい。パンフは売り切れ。映画ってこういう楽しさの事でもある。



#### ▲月▲日

週末出かけるので、今日中に送っておきたい「木陰の物語」新作、第268話目を完成。毎月4ページだから22年以上1072頁。全くよく描いてきたもんだ。ここからまた新しい本「家族の練習問題/第9巻」が今年中に出版予定。楽しみは尽きない。



朝日新聞の朝刊にこの記事が掲載された。驚田清一さんの本はいくつか読んで、好きな文章を書く哲学者だ。2011.3.11 をきっかけに、無料配布し続けた文庫本が、どこから届いたのだろう。

この物語は「家族の練習問題」第二巻に収録。youtube で「団士郎 花嫁」で検索すると、このリミテッド・アニメーション動画(4分)がみられる。

▲月▲日

高知家族理解ワークショップを、懐かしき満タンの施設で。木の香りのするいい感じの建物。二年四ヶ月ぶりの開催だが、この間、参加者の立場の変化もいろいろ。変わらないものはない世界で、コロナ禍やウクライナ問題の余波を受けつつ、みんな生きている。



▲月▲日

昔からこういう物が好きだ。最近、あるきっかけで興味を持ったのは「円筒分水槽」。知らなかった。

水が湧き出て、絶えることのない時間が刻まれているのを見ているのが好きだ。原体験は隧道に多量の水が呑み込まれていく琵琶湖疏水。明治時代の産業遺産だ。そのすぐ側で育った。



▲月▲日



▲月▲日

ストレッチに行った後、珍しく肉が食べたくなった。最近、ビーフを美味しいと思えなくなっていたので、鶏、豚が多かったのだ。和食の野菜ばかり食べていることも多い。そこで通りすがりの知らない店を見つけてランチ。シンプルで清潔な新しい店。美味しく食べられた。開店三ヶ月目とか。また行こう。



▲月▲日

青森県弘前市で家族理解ワークショップ。十八

人の参加で五人が初参加。二十年以上通いつけている地域。継続がもたらす物が大きい事を感じる。昨日、空港からの道中、田舎館村の植えたばかりの田圃アートを。ぼんやりモナリザが見えた。



ここ二週間ほどの間、併読していた小説を、遠征の間に読了。アメリカ大陸を長距離、車で旅する物語。足跡を残さないために飛行機は使わない。カードも使わない。車で、現金精算で殺人目的の旅を続ける。小説感がとても良いし、「東の果て、夜へ」という邦題もいい。



十五歳の少年イーストは生まれて初めてLAを出た。これから人を殺しに行くのだ。標的の裏切り者は遠く離れたウィスコンシンに旅行中で、法廷に立つため来週戻ってくる。その前に始末しろという所属組織の命令だった。イーストに同行するのは、殺し屋である不仲の弟をはじめとした少年たち。崩壊の予感と軋轢を抱えながら、二〇〇〇マイルに及ぶ長い旅が始まる。孤独なる魂の彷徨を描いて絶賛を浴びたクライム・ノヴェル



▲月▲日

かなりのシャツ好きだ。呆れるくらいの数、クローゼットに並んでいる。だが、中でも好きなものに偏って着ているとよれる。

これも延々と愛用してきた一枚だが、いよいよ裾がほつれてきた。もう外へは着て行けない。だから一人暮らしの自宅で着ている。十年程前にLL bean 京都？北大路店で買ったものだ。



▲月▲日

仕事場から十分ほどのところが京都御苑。薄曇りの20℃ほどの中、5000歩ほどの散歩に出かけた。ノートPCを開けるところがあったらと思っていたら、こんな屋外テーブルが。ここでしばし、今夜のトークライブの仕上げにかかる。風が気持ちいい。一人で上手に遊ぶもんだ。



▲月▲日

対人援助学マガジン49号がアップした。拡散希望。一人でも多くの方に、関心のある記事を届けたいので、どうぞよろしく。



▲月▲日

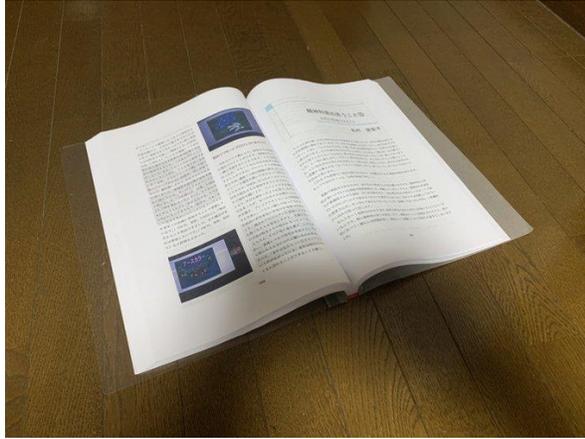
明日の浜松家族理解WSのため、前日入り。世話人とこれを。鰻はなぜか子どもの頃から大好物。よく、京都・江戸川に両親と妹の四人で、食事に行ったからかなあ。



▲月▲日

アナログ人間だから web 発行の対人援助学マガジンをプリント製本する。それを移動中にパラパラ読む。面白い記事が多いと思うのは自分が編集長だからだけではないと思う。なかなか読み切れるボリュームではないが、試しにご覧ください。

年4回、遅れることなく発行を支える執筆者の誠実さが読み取れます。



▲月▲日

先日観たのを思い出して、第一作目のこれを久々に夜中に再見した。トムクルーズは若いが、トニースコット監督が作ったこれ。新作「トップガン・マーベリック」を観てすぐなのに、古い感じがどこにもない。カッコいいだけの映画だが、IMAX の大画面で新作の方を再見したくなった。



▲月▲日

思い立ったが吉日だ！ IMAX シアターでも大スクリーンの劇場を検索してみたら、万博記念公園前の劇場が関西一らしい。大阪での用件の前に足を伸ばしてみたら、月曜の昼前なのに結構な人出。同じようなことを考える人も多いのか。

IMAX シアターは海外も含めてあちこちで訪れた

が、最近是小さめのスクリーンのもあって期待外れ。昔、天保山のサントリーミュージアムにあったIMAX劇場は、見上げて、見下ろすような大画面だった。



▲月▲日

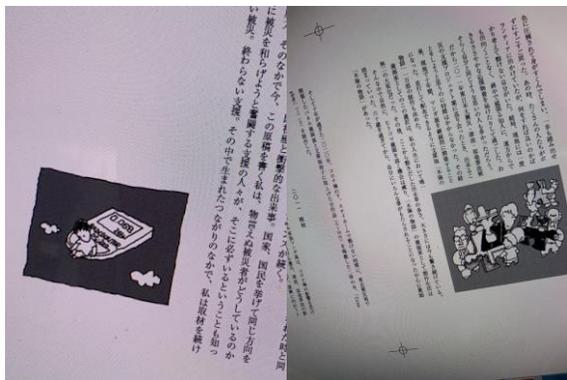
見たいものがあって、仕事場への道中、京都漫画ミュージアムに回り道。ところが火水が休館日だと。ミュージアムの休みは普通月曜だろうと思い込んでいて、調べなかったのが悪いんだけど。ならば髪でも切ろうと電話すると一時間後の予約に。それでこんな景色のスタバで来月の新作木陰の物語を思案している。コーヒーフラペチーノ・ワンショット追加で。



▲月▲日

まもなく刊行される「災厄を生きる一物語と土地の力 東日本震災からコロナ禍まで」のイラスト配置の最終校正を済ませた。なかなか興味深い記述が多いと思う。ぜひ、Amazonなどでご購入下さい。国書刊行会 刊 予定価格 2400+税。

しかし本の売れない時代で、初刷り数も驚くほど少ない。



▲月▲日

先日、休館日だったマンガミュージアムに出かける予定をしているが、何だ33度ってこの気温。「谷口ジロー展」を覗くつもりだったが、ちょっとひるんでしまうな。

この展覧会、東京・世田谷美術館でやっていた時、出張の足を延ばすつもりでいた。ところが京都巡回展があるのを知って、それならと他の何かを見たのだったが、何だったか？

で、谷口ジロー展だが、マンガ原画展ってあんまり心惹かれられないのだけれど、来てみるとそうなのか…と思うことがある。頑張ってマンガ描こうと思えたのも収穫。

このミュージアム、こんな時期でも人出が多い。若者がたくさんいるのが、新聞社等の企画もの美術館との差だな。



▲月▲日

新幹線京都駅でタイミングが合うと必ず松葉のにしんそば。京都人の好みようで、エッ、蕎麦に魚？と言われたこともある。我が家の年越し蕎麦もずっとにしんそばだった。

で、今から九州に向けて出張。明日の八女WSの前ノリ。



▲月▲日

福岡県八女で4回目のWS。前は二年前、コロナ禍はいろいろ変則を作り出してきた。無事、五時間プログラムを終えて帰路に。これで続いていた毎週末の遠征は一区切り。さくら車中の読書など楽しもう。



▲月▲日

今日は家で休日気味の仕事。最近、youtube でこればかり何度も聞いている。イーグルスの「ホテルカリフォルニア」には懐かしい思い出がある。

そして、na Relo サウンドは大瀧詠一にもオールディーズにもピッタリ。福岡のグループらしいが、ライブが観られたら楽しいだろうなあ。



【70's】 [歌詞付]...  
na Relo 洋楽チャン...  
48万回視聴・3週間

▲月▲日

毎月の木陰の物語新作を、スタバで一気に下書き完了。今回はちょっと違ったテイストのものにさせてもらう。

ランチは山科の無印良品で。食後、来年作りたい本の文章を書き足す。この後、仕事場に行って、夜はペン入れの予定。



いったいそれが何なのか、どうしたら発生するのか、さっぱり分からない。とにかくたまにしか来ない大波が今日の午後訪れた。

その結果、新作の下書き後、新しい話を二作、完成できた。こんな日は格別うれしい。コンスタントにこういう波が来てくれないものか。

▲月▲日

現在、大阪と鳥取で平和漫画展を開催中だが、京都ではこの漫画展が始まる。三か所で同時期に出品しているのは初めてかな？

京都・河原町三条角の画廊での開催。掛け軸を一作品出す。通りかかったら覗いてみてください。

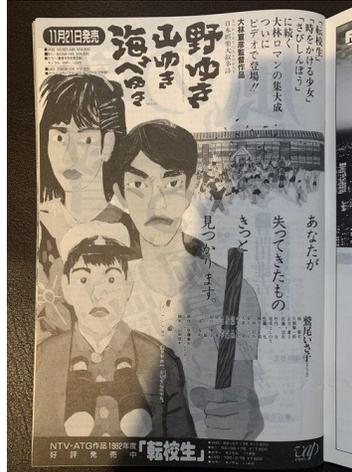


▲月▲日

週末はダラダラと Netflix。今朝の大雨のせいで身動きならず、午前の予定が狂ってしまった。その結果、珍しい来客を自宅に迎えることになり、結果的に楽しく歓談した休日だった。

士郎さん.com のホームページ連載コラムが一年の半分を越して第 27 回目。今シリーズはずっと映画に紐づいた事を書いている。映画評論など出来ない。映画がもたらした記憶の話だ。

[www.shiro-san.com](http://www.shiro-san.com)



▲月▲日

KDDI の大々の接続不具合ニュースは私には関係ないと思っていた。いくつか連絡や返信があつて良さそうなものが無反応で、多少の見込み外れな事柄も起きたのだが、接続トラブルと関連づけていなかった。

今頃になって、繋がらなかったと複数の連絡があつた。そうか、先方の通信会社は AU かもしれない。こちらだけの話ではないのか。



▲月▲日

東日本大震災 被災地訪問十余年とは、どんな事をもたらしたのか。今も継続開催中の東北・木陰の物語マンガ展とは何だったのか。それが今の私に植え付けたものとは。

そんな事を私の章では書きました。7月23日発行予定。Amazonで予約できます。



単行本  
¥2,640 (26pt)  
prime

▲月▲日

日本漫画家協会・関西ブロック展で、ギャラリー当番担当。昼頃から漫画家・高月紘さんとおしゃべり。五十年も前、ぼむが活動し始めた頃、すでに自作漫画集を発行していた人で、廃棄物問題の専門家。京都大学名誉教授でハイムーンのペンネームの「ゴミック」の作者。

細く長くの50年近いお知り合いだが、その間には、KBS 京都ラジオでレギュラー番組をしていたある日、今日のお客様は誰でしょう？とアナウンサーに言われて、「はあ」と首をかしげていたら、登場したのが高月さんというサプライズがあった。



▲月▲日

家族の練習問題第九巻の候補作とコラムが送られてきた。はじめにと後書きを作成し、最終提案をまとめて編集者に返す。いよいよ九巻目になるの

かとしみじみ思う。

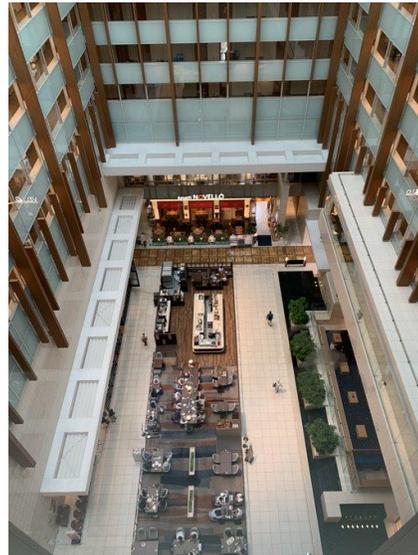
2006年に第一巻が出てから十六年。ここまで続けられたのは、買って下さる読者のおかげだと感謝。そして完成しましたら又、宜しく。



▲月▲日

久しぶりにこんな高いところから街を眺めている。東京での仕事の前日、新横浜に来た。

今から娘と食事。本当は孫も一緒に久々の対面だったが、体調不良。それならキャンセルでよかったのだが、夫が「みているから、お父さんに会っておいで」と言ってくれたそうだ。



▲月▲日

渋谷の音楽スタジオを借りて、去年に続いて出前講座用のDVD第二弾の収録。

完成したものを貸し出し、世話人に立候補してくれる人にあちこちで講座を開いてもらう、話し合い用素材。

zoomとも違って、収録はリズムが微妙。私しか気づかないことらしいが、ライブとの差は大きい気がする。

後日、手の込んだ編集のデモを見せてもらったが、よく出来ている。まさにプロの仕事だった。

#### ▲月▲日

六十年以上ぶりの鎌倉に、長男一家のお宅訪問。みんなに会えて楽しくご飯を食べた。四月に二人で旅をした中三の孫と再会。なんかいい感じだった。

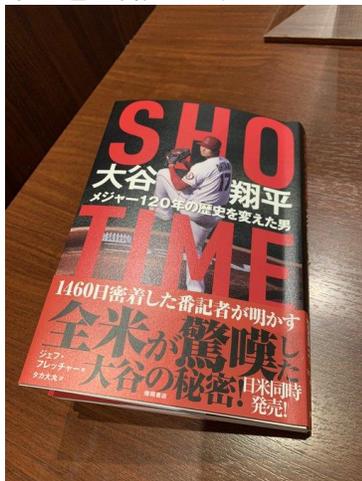
夕刻から滋賀で仕事なので、ホテル近くの鶴岡八幡宮だけに立ち寄り、大きなハスの花を見て、参道の店で朝取れ生シラス丼を食べて帰路に。



#### ▲月▲日

今夜から zoom 講座の第 4 シリーズ(全6回)がスタート。準備も整い、それまでにストレッチに行っ、映画を一本観ようと出かけた。

その道中の書店で、こんなウキウキものエンタメ本に遭遇。読むに決まっている。楽しい。



映画「エルヴィス」。私の思春期に少し上世代のスーパースターだったから、世界的にはヒットでも日本では誰が観るかなと心配する。

平日 2 回上映が京都の劇場の現実。そこそこ人

は入っている。前半、メチャメチャ面白かった。2 時間 39 分は少々長いから後半少しね。バズ・ラーマン監督のミュージカルは好みだから良いけど。



#### ▲月▲日

仕事も結婚生活もスタートさせた五十年前の福知山。すっかり様変わりした場所で専門領域公務員が圧倒的多数参加のトークライブ、三時間。快調に話せた。

終了後、旧知の友人二人と懐かしい場所「かき末」で食事しながら歓談。ここに川崎二三彦が加わったメンバーで、「四人囃子」というミニコミ誌を結構長く出していた。その後特急あさしおで帰路に。

#### ▲月▲日

大阪梅田での漫画展が好評の会期延長で昨日終わったので、朝から撤収作業に。壁面に貼り付けた作品は剥がすのに一苦勞。疲れてしまった。

夜は立命館茨木で東北プロジェクトの例会なのでそれまでの間、前にも一度利用した TSUTAYA 梅田店の中のここで二時間仕事を。フリードリンク付きで 1000 円。



▲月▲日

出張仕事の移動新幹線はEXアプリで、在来線はe5489で。宿泊の段取りは楽天トラベル。出先からの移動や、目的地への経路選択は駅すばあとと、すっかりアプリに頼り切りになってしまっている。便利だし、変更も自在だが、自分の中から移動のマネージメント力が落ちていくのが実感される。

コロナの感染拡大ニュースを受けて、土曜日の金沢での石川家族理解WSが延期になった。今までで一番直前の中止決定。参加予定者の不安や、立場上の判断など、いろいろな心配を皆が抱えることになる。それなら延期もやむなし。またの機会を待つことに。JRのチケット払い戻しに行かなきゃ。



▲月▲日

立命館大学大学院の人間科学研究科で夏季と冬期二日間ずつのWSを継続している。



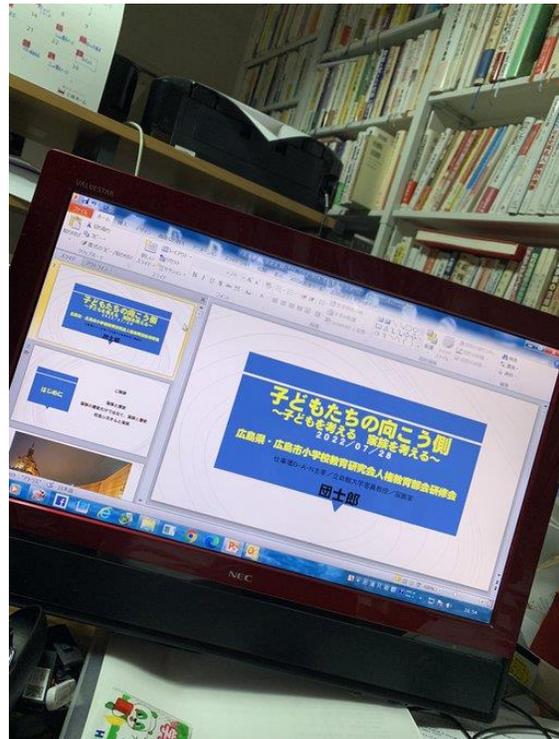
茨木キャンパスに行った後、母校春日丘高校前を、何十年ぶり？に通った。すっかり様子が変わっているような、面影があるような。あの頃、今日、こんな立場で校門前を歩くことになるなんて想像もできなかった。

校門前には古い苦い記憶がある。あるとき、ここに教職員労働組合の立て看板が出ていて、中身は忘れたがすごく嫌な感じがした。若くて保守的だったのだろう。それを破り捨てた。その後、どうなったのかの記憶がないのだが、そんな高校生だった。15歳から17歳頃、ここが全てで、先のことなど何も見えなかった。

▲月▲日

明日の広島講演用パワポを構成中。コロナ禍で延期、中止もある中、ここは実施される。スケジュールを見ると、今七波？は予定通り開催のものが圧倒的に多い。

一方、身近な友人は家庭内感染だと聞く。用心はするが、結果は支配できないということ。どこまで続くぬかるみぞ。



▲月▲日

毎年依頼されて描いている家族心理学会年報の表紙が、今年も出来上がった。発売はまだ先だが、今年の本はこんな顔をしている。

テーマに関心のある方は覚えておいて手に取ってみて下さい。



▲月▲日

広島へ。近年の JR、様々な事情による遅延や運休対応に、とにかく要所まで早めに着いておくようにしている。そして新幹線京都駅待合室で読書。

いい頃にホームに上がって、「あっバラ寿司買いたい」と思った。エスカレーターで下りて目当てのものを探してウロウロ。発見、購入、ホームに。

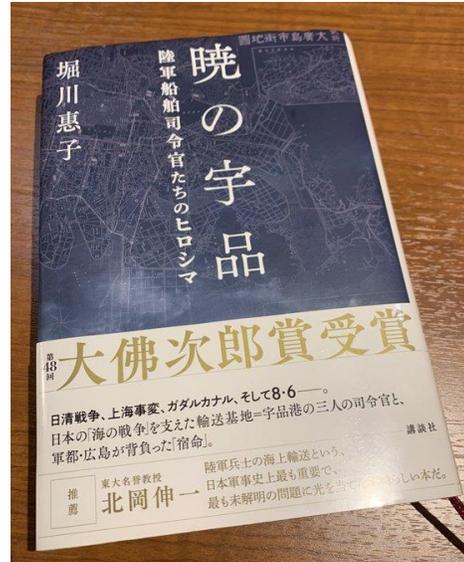
電光表示をみると、11:08 東京行と出ている。アレ？ 反対ホームだ。大慌てで駆け降りて、駆け上る。11:07 広島行、入線中、焦った。

そしてこの最終部分を広島行きの車中で読んでいる。この本は「ファミリー・ヒストリー」を一緒に探索してきた次男が発見して薦めてくれたもの。

ここに登場する三人の陸軍船舶司令官の先輩に当たる、二代目司令官だった人物が私の母方祖父なのだ。

大正末期に退役して予備役になった祖父の軍人人生を、登場人物たちと重ねながら読んだ。祖父の兵籍簿にはウラジオ着任などの文言があったが、宇品を本部として兵站の仕事をしていたことが読み取れる。

昭和の登場人物たちは皆、物資輸送の観点から、だんだん勝ち目のなくなっていく戦争を見つめていたのだ。



▲月▲日

恒例の人間ドックに大腸カメラを追加したバージョンを初めて、京都の内視鏡クリニックで受けた。前日からの絶食プラスの準備には参った。映画「ミクロの決死圏」みたいな映像を見せられながら話を聞いた。大きな心配はなく、出来ることはしておきましようの結果。



▲月▲日

話はわかってるでしょ。いつも同じ、なんて思うのに観てしまう。IMAX で 3D。好きだねえ。

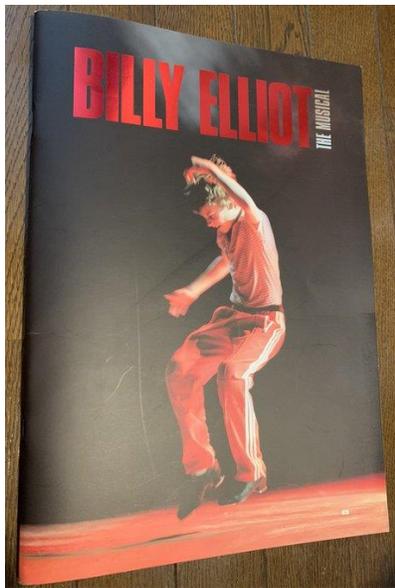
でも不思議なことに今回、やたら第一作を観た頃を思い出した。1990 年、初めて再生恐竜を見上げる、あの驚きのシーンから 30 年。この作品の歴史も見てきたんだなあとしみじみ。



▲月▲日

映画、舞台にまつわる記憶を、パンフレット片手に一年間、ホームページに連載している。

先々と書き溜めているから、書けなくてとぼすことはない。ところが書いてあるのに、管理人に送信を忘れるのだ。それを何度も繰り返す。今朝も督促を受けた。今週はこれです。



▲月▲日

酷暑だしコロナ禍だし。基本的に仕事場か家に居て、外出しない日も多くなる。そんな中でも果敢に計画を実行するところはある。その心意気は好きなので、やると言われたら出かける。

今日は地元、滋賀県愛荘町に講演に。学校の先生たち対象の研修。皆さんが予想していた話じゃなかったかも。



▲月▲日

今読んでいる短編集がめっちゃ面白い。今村翔吾の勢いがいい。本購入が加速して一度に三冊。仕事場に来たら Amazon からもう一冊届いていた。出かけなければならないところは行くが、そうでなければ読書の夏で部屋にいるかなあ。

最近、遅ればせながら Netflix のリアリティ・ショーにはまっています、結構あれこれみている。



▲月▲日

コロナ禍をかいくぐって家族療法ワークショップ step1 が無事開催できた。人数制限をかけて結果、二十二人でのスタートになった。用心深く慎重になら不開講が無難だ。でもそれを続けているのも、その間にも加齢していくのが気になる歳頃の我が身にはつまらない。参加者には楽しんで欲しい。

2022年度  
家族療法ワークショップ STEP I

★プログラム	
2022年 8月5日(金)	13:00~19:00 家族療法の基本 ジェノグラム
8月6日(土)	9:30~12:30 家族の理解とジェノグラム <昼食>
	13:15~19:00 初回面接 ジョイニング
8月7日(日)	9:30~12:00 ジェノグラムと質問力 <昼食>
	13:00~15:30 家族へのアプローチ



▲月▲日

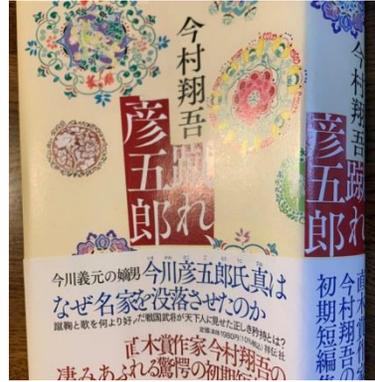
WS 第二日。初回家族面接のロールプレイ実施中。この後は3グループに分かれて、家族づくりと、お互い役割を交互に面接実施体験が19時まで。



▲月▲日

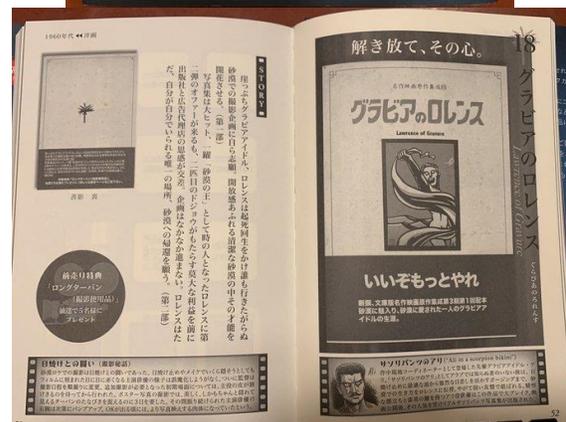
三日間のWSを終えた月曜日。休日にはならないが、自宅で今週の予定の準備と連載コラムの書き溜め。早目に用意するので、のらなくなったら気を散らして、ビデオを見ても、読書しても、支障はない。

「蹴れ、彦五郎」は、やはり今年一番の短編集だった。



▲月▲日

だいぶ以前に、注文していたのを忘れていた。封を開けてみて「羊たちの親睦」の駄洒落に笑った。最初から終わりまでこのペースである。思わず声が出てしまったり、苦笑いもたっぷり。中味はない。



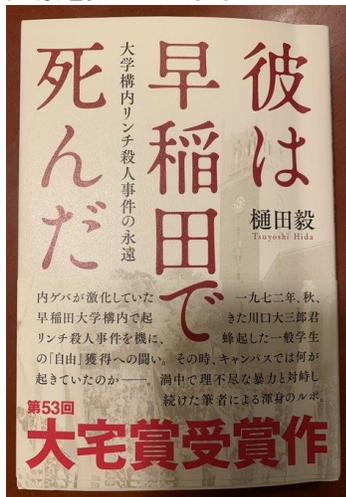
▲月▲日

大昔、大阪フェスティバルホールコンサートにドキドキしながら出かけた歌手、オリビア・ニュートン・ジョンが亡くなった。滅多に外タレ公演など行かなかったのに。大ヒット曲も良かったけれど、カントリーソングのLPがあって、それがとても好きだった。探せば今も家のどこかにあるかなあ。



▲月▲日

手にした 200 頁足らずの恋愛小説が、中小企業の社長の自慢話の聞き書きのようで、読後感最悪だった。そこで買ってあったこれに手が伸びた。ちょうど同時代、同志社大学のキャンパスで同じような光景を見ていた。あれから 50 年も経ったのだなあ。



▲月▲日

去年に続いて、シーズン 2 を、やることになった。学校教育相談誌連載を読んでくださる読者に向けた、「先生のための、団士郎さんと家族を学ぼう」

案内をぜひご覧ください。

0:40

4G

2022.08.10 21:44

【10月14日～全6回オンライン】先生のための「団士郎さんと家族を学ぼう」 season2



小学校、中学校や高校の先生、あるいは保育士、幼稚園教諭など、子どもたちから「先生」と呼ばれる職業の方々を対象に【先生のための「団士郎さんと家族を学ぼう」】を開講します。

本講座は年に一度の開催となっており、第二回目となります。この講座を受けることで、例えば保護者対応に悩んだ経験のある皆さんは、これまでとは違った視点で対応や援助ができるようになると思います。また、ご自身の家族や子育ての在り方を見つめ直すこともできます。

ポイントは、家族はシステム（関係）の中で営まれているという考え方。何か問題や課題に直面したときに、問題や課題を抱える当事者の意識や行動を容れさせ解決に導こうとするのではなく、当事者を

shiro-san.com

▲月▲日

二年前、今日が特別な日になった。妻が亡くなったのだ。

有難いことに私は元気に過ごさせて貰っている。これは亡妻始め、子ども達や、身近な友人、知人の方達の支えのおかげだということは十分理解している。

相変わらずバタバタした日々を楽しく生きていられることに感謝だ。

祥月命日、合掌。



▲月▲日

東京国際フォーラムは、会場として便利だし、値段も公設だから、それほど高くないらしい。こんな条件下でも、十三人が集まって、いろいろやっている。



▲月▲日

台風の影響で遅れ気味の新幹線車内にいる。今のところ2,30分の遅れで動いている。予定より大幅に早い時刻の自由席に乗ったので、二年半ぶりの東京WSには間に合うだろう。でもコロナ禍と台風のお盆の時期に、参加者はたどり着けるのかな？



▲月▲日

丸の内 oazo の丸善で、この本に目が止まったことで、対人援助学マガジンの新連載構想がはっきりした。早速、店内 cafe で読みながら、前文を書いた。久々に DAN 通信を再開する。第三シリーズになる。シンボルスカの前作「終わり」と始まり」もネット注文。



▲月▲日

ストレッチ後、久しぶりにトレントレインでランチ。タリーズで明日夜の zoom 講座②の準備をほぼ仕上げ。上映時刻を確認しておいた movix 京都でこれを。169 分と長い映画でトイレに一度立った。面白そうな話の気がして、こればビンゴの予定だったが、それほどでもなかった。タイトルは原題ではない英語で、これは「ストーリー・オブ・マイ・ライフ」のダジャレかよと思ったのだが、その先入観が抜けなかった

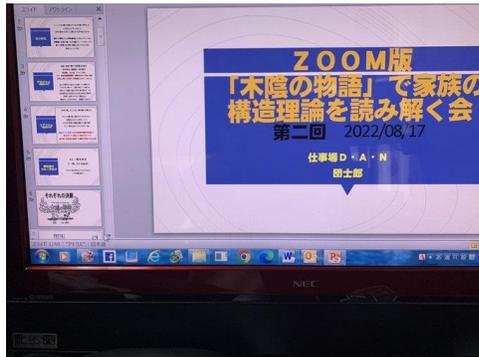
行きつけのお惣菜屋で夕飯を見繕って仕事場に戻る。大文字送り火は避けて、対人マガジンの原稿を書く。



▲月▲日

夜 20 時から二時間、zoom 版事例検討プログラムの私風展開を考えた新シリーズの 2 回目を終えた。zoom の利便性、参加者の時間、経済、体力負担の軽減と、中身の充実、満足度を試行錯誤している。

何より面白かったと言ってもらいたい欲が強い。面白ければ良いと思っているので、ヨロシク。



▲月▲日

今夜は zoom でこの集まりがあった。水野スウさんのお話に、スウさん縁の方がたくさん参加して下さって大盛況だった。

マガジンとの関わり、自分の本の出版や、ほめことばのシャワー、そして出前憲法講座の話。承知していたいろんな事の間隙が埋まる話があった。豊かな時を過ごせた。

◆第4回 対人援助学マガジン 執筆者トークライブ◆

EVENT ◆第4回 対人援助学マガジン 執筆者トークライブのご案内◆

2022/7/22 (金)

対人援助学マガジン

水野スウ氏 連載「きもちはことばを探している」

ライブのご案内

対人援助学マガジン執筆者トークライブ(オンライン)を下記の要領にて開催いたします。執筆者トークライブは、執筆者と読者が顔を合わせる機会を作るとともに、執筆者の連載テーマについて書ききれない思いや余白について思い切りお話し頂く機会を作れたらとの思いで企画しました。フロアとの意見交換も行いながら、「ライブ」での展開と交流を楽しみ、互いに学びを深める機会になればと思っております。

7月 第49

第4回執筆者トークライブの話者は水野スウさんです。水野さんは「きもちは、言葉を探している 紅茶の時間とその周辺」と題して、マガジン第2号から連載を開始し、週に一度誰でも無料で参加できるオープンハウス「紅茶の時間」やその周辺にあるさまざまな活動に関して連載を続けておられます。その活動の原点である「紅茶の時間」

秋大会11月